

## 7月のデキゴト

筑波大付属坂戸高校から可愛いプレゼント

『矮性ひまわり・ビッグスマイル』

6月26日筑波大附属坂戸高校から環境学館いづみに、『ビッグスマイル』という可愛い【矮性（ミニ）ひまわり】15株が届けられました。

筑波大附属坂戸高校では校内で「ミツバチを育てたい」と、環境学館いづみのミツバチボランティアに生徒さんたちが参加しています。

そのお礼にと、種から育てたという【ミニ】だけど【ビッグスマイル】という楽しい名前のひまわりをいただきました。

早速、いづみの駐車場南側の芝生に職員の手で移植されました。

可愛いヒマワリのイラスト入りのプレートも添えられています。



盛夏に向かって頑張って咲いている姿は、脇を通る市民の目を楽しませてくれるでしょう。

記 環境学館いづみ運営ボランティア I・Y

7月17日（土） 開催 「布ぞうり教室」

環境学館「いずみ」開館（2002年11月9日）翌年の夏、山田先生、小川先生を講師に「布ぞうり講座」が実施されました。翌2004年からはいずみ職員とボランティアが協力、工夫しながらの講座となり、何度もレジメの書き換えをしながら（現在進行形）、夏の講座の一つとして実施しています。

着物・シーツ・手拭い・浴衣・Tシャツ・タオルなどの様々な布を裂いて、布ぞうりを作ります。参加される方お一人ずつ、色合いや大きさも様々。始めて作る布ぞうりは左右が揃わなかったり、つま先作りに手間取ったり……。それでも、めげずにじっくりレジメを見ながら挑戦されると、納得のいく布ぞうりが出来上がります。夏場の素足に気持ちいい布ぞうりですが、五本指靴下を履いて冬でも布ぞうり、と一年中利用されている方もいらっしゃいます。

「吸盤・針金ハンガー」を利用して、椅子に座って作る方、床に腰をおろし昔ながらの作り方に挑戦する方、作業時間はまちまちですが、参加された方全員が一足の布ぞうりを完成させる事が出来ました。以前は午後だけ、片足分だけ、の講座でしたが、ここ数年はお弁当持参、必ず一足完成と言う講座になっています。

年齢を重ねると足元が不安定に。履き心地良い布ぞうりですが、階段の上り下り、思わず滑ったりしますので、くれぐれもご注意を。

記 環境学館いずみ運営ボランティア R.T